

## 議会モニター会議 会議録

- 第1 開催年月日（曜日） 令和4年1月12日（水）  
第2 時 間 18時00分～19時30分  
第3 場 所 役場 大会議室  
第4 出席者 議長：北村直樹  
議会運営委員会  
委員長：塩原智恵美 副委員長：中村文映  
委員：高橋廣美 林邦宏  
議会モニター：5名  
議会事務局長：上條裕子 書記：石田和香

### 第5 会議次第

- 1 開会
- 2 挨拶（議会運営委員長）
- 3 懇談会
  - (1) 小林村長との懇談
  - (2) その他
- 4 閉会

### 第6 会議録

#### 1 開会（中村議員）

みなさんこんばんは。議会モニター会議を遅い時間ですが、これから開会いたします。

#### 2 挨拶（塩原議員）

改めましてこんばんは。今日はすごい寒さで相当な強い風が吹き荒れておりますけれども、そうした足元の悪い中お集りいただきました。5人の方が残念でございますが、欠席の届け出が出ておりますので、今お集りの皆さんの中で、今日は昨年11月30日の日に議長のほうから村長の方に報告いたしました、モニター会議の村への提言の関係について報告をしまして、村長の方から直接モニターの皆さんと説明をする機会が欲しいというような申し出がありましたので、今日はそうしたことでお集りいただきました。私の挨拶はこのくらいにさせていただきます、内容のほうにフリートークということで、私はもう進行をすることはしませんので、これはどうなんですか、あーなんですか、と村長のほうと自由に意見交換をしていただければいいと思いますので、そういうことでお願いいたします。

では早速懇談会に入りますが、村長のほうから何かありましたらお願いします。

#### 3 懇談

##### 小林村長

今日は午前中から全協をご覧いただいたり、また夕方お集りいただきましてお疲れさまでございます。モニターの皆様方には常日頃より村政をいろんな角度から見ていただいております、感謝申し上げます。

この前議長の方からいろいろモニター会議の内容の報告を受けました。

その中で全協におけるパワハラ発言問題だとか、そういったことでいろいろ皆さんに心配やご迷惑をおかけしました。本当に申し訳ないというふうなつもりでおります。

いずれにしても生身の人間なものですからね、そういう時のいろいろな雰囲気またはいろいろな背景で、ああいうような発言に至ってしまったということは私も反省しておりますし、ただ、ああいうこともたまにはいいんじゃないかなと思っております。こういう議論が深まるのでね。そういったことでその話と、それとモニターの皆さんからのいろいろな意見の議事録も見させていただいた時に、これは村側としても1回ちゃんとお話を受けたり返したりする、いろんなそういったご意見が多かったものですから、お願いをして今日の場を設定していただきました。

どうぞよろしく申し上げます。以上でございます。

#### 議会モニターA

私が議員をやっていた頃に比べますと、今は雲泥の差ですね。例えば議会報というもの出すだけでも凄く大変だと思っていましたけれども、こうやってこういう会議を開くとなんか議長の話によると県内でもあまり多くこういうことをやっていないみたいですね。近隣の町村ではどこかやっていますか。

#### 北村議長

近隣はやっています。ただ、私の把握している町村ですね。町村だと、3分の1くらい。あと議会モニター設置しているところもほとんど稀かなと感じております。

#### 議会モニターA

とにかく全然違いますから、議会も大変だけれども村長も職員の方も大変だと思います。

例えば皆さんが、この村で自分が自慢できるものは何かってことを考えたことありますか。この村で1番自慢ができるもの。例えばこの役場なんかもすごく立派ですが、保育園だったらすごい広々して立派ですね。この前暮れにですね、社協の方から豪華な弁当が届きました。凄く豪華な弁当でこれはどこか上石さんかなんかで作ったのかなと思ったら、社協とそれから有志20人ぐらいで大変な時間をかけて180個作ったということで、配っていただきました。すごくありがたいと思いましたね。

それと、例えば私がもし村で1番自慢できるものでしたら、美術館というのがあります。

初めて訪れたあのお客様で朝日村にこんないい美術館があると思わなかったと。どんな方も異口同音にいい美術館で立派だなんて褒めているんですよ。それでその美術館の中には、美術館友の会というのがあって名簿を書いて、普通はいっぱいぐらいの会員がいたんですが、最近はその半分ぐらいになってしまって、非常に寂しい思いをしています。是非村長さんと議長さんをお願いしたいんですが、村の職員の方、それから議員の方、年間1000円の会費で年中ただで見られるということですので、三月頃に新しく募集しますので、ぜひ声を掛けていただいて1人でも多くの美術館の友の会に入りたいということをお願いします。そしてもっともっと盛り上げていかなきゃいけないと思いますね。

とりあえずそれだけ申し上げます。

小林村長

早速入会いたします。

中村議員

全くそういう会があることも認識しておりませんでした。

議会モニターB

せっかくの機会ですので、村長は村議員もされて村長になったということで、ぜひ村議員の時は村議会という立場で活動されていらっしやっただと思うんですが、村長になられて行政側から見て、村議会の意義ですね。議員としての村議会の意義ではなくて、行政側から見て、どういうことでその村議会というのは必要なのか。どういうところに対して村議会の意義を見出しているのかということをお伺いしたいんですが。

小林村長

突然難しい質問だと思うんですけども、前々から私が思っていることは、これは国家もなんの組織も同じだと思うんですけども、やっぱり行政側っていうのは一所懸命将来のことも考えて、どういったらいいのかっていうまずは方向性と、それに対するアプローチ方法を決めますよね。ただ、これが本当に今の朝日村にとって本当にそれがいいのか悪いのかっていうのを、第三者の目で正式に公式に判断してもらうっていうことが大事だと思うんですね。ですからやっぱり議会はそういう目で我々行政がやろうとしていることに対して、良いならいいし、悪いなら悪いっていうことでお互いに議論をぶつけ合っていくということなものですから、我々その行政としても、ある意味このまま突っ走っていいもんやらというときには、やはり議会も同調も必要になりますし、そういったことでお互いにそういう立場をわきまえて、いい村づくりをしていくということで、議会はなくてはならないものだというふうに私は思っております、そういう意味で。

議会モニターB

それでやはりパワハラ発言の方はお伺いしたのであれなんですが、やはり議会の中でその時に市民タイムさんの取材の件もあって、議員さんに村へ問い合わせをしなかったのは自分の落ち度ですよっていうような発言も村長がされまして、やはりちょっと生身の人間であるのでそういう発言もっていうことがあったんですが、やはりちょっと、議会に対して若干軽視しているような発言といいますか、態度というのがちょっと多いのかなという所が見えまして、このところはやはり村のトップ首長ですので、大きな器ですね、ある程度のところは受け止めていただいて、進めていただければいいのかなというふうに思いました。恐らく村長にこういう風だと言われてしまうと、どなたも反論できなくなってしまうのかなと。ですので村のトップとして村長が朝日村というところもあると思いますので、是非かっこいい姿と言いますか、そういったところを見せていただければありがたいかなというふうに思います。あとですね、同じ協議会の山際の企業進出の件で議員さんから、住民の方から通学路もあるのでちょっと安全なところを検討してもらえないかということで質問がありまして、教育長は検討しますということで返答されたんですが、その後村長が教育長は検討しますと言いましたが、何かを作る等はしません

という風な答弁をされました。

もしあれでした議事録等見ていただければと思うんですが、ちょっとそういうような発言をされまして、一応議員さんもその住民の方から、不安だからということ聞いてもらいたいっていうような話になっていたかと思うんですが、そここのところをすぐ検討しますということではなくて、何もしませんというふうにおっしゃったその理由と言いますか、思いといたったところがもしあればせかくなので。

山際のところで議員さんが地元の住民から通学路にもなっているので、その企業誘致されてくる従業員が30人ほどということで、車も30台ほど新たに通るということで、通学路に対しての不安を恐らく訴えられた件で、何か安全対策等を講じてもらいたいっていうようなことでの質問だったと思います。それについて教育長は検討しますという風に仰ったんですが、すぐ村長が何か作るっていうことは考えていませんという風に、教育長の検討しますというのを修正されたということにして、そこに対して何かその理由と言いますか、そういったものがあれば。

小林村長

今通学路の安全点検ということで、村中いろいろなところをやっています。

そして歩道がないという部分においては、因みに昨日も松本建設事務所のメンバーが来られて、私はちょっと同席できなかったんですが、我々のほうとしても課長のほうから通学路の教育委員会の次長のほうから通学路に関する歩道の設置ね。県がやらないなら村としてやるということまで伝えてあります。そうしたら県の方は、県道なのでちょっとそれは待ってくださいというような話、そこまで突っ込んだ話をしています。それであの山際の件は、何もしませんっていう意味はすぐにはできませんっていうような意味で私は言ったと思うんですけども、考えますっていう言い方は簡単ですけども、じゃあ具体的にいつから何をやるのかっていうとこまで行かないとならないわけですよ。ですから、今すぐには無理ですというような私は返答にしたというふうに思うんですけどね。

ですから全体的に今通学路の問題は、目をかけて不具合を直しつつありますので、そういった背景だったように今思います。

議会モニターB

ありがとうございます。恐らく村長の思いでその発言があるとは思いますが、やはり受け手側がまたどういうふうにとるかというのもあるかと思しますので、ちょっと私はモニターとして聞いていて、その教育長の検討しますに対して、村長があんな修正されたところはちょっとどうなのかなっていう風に思ってしまったので。

過去の議事録等を村のホームページから見せていただいた中で、村長も平成30年の3月一般質問の中で通学路でちょっと危ない思いをしたので、逆に議員として通学路のヒヤリハットですとか、そういったところのアンケートですとか、そういうところをやってもらいたいというような質問もされていたのを見たものですから、ちょっとそれを見て議員さんの頃はそういう質問されたのに、3年たって何か変わってしまったのかなあって。

小林村長

通学路の問題ではアイデアをいっぱい出していましてね、さっきの県道というのは非常に昔からもう

20年近くに渡って、もしかしたら中村さんの時代から、通学路のあの歩道設置というような要望書を県に出していると思うんですね。それも毎年やっても、もう全然がちが明かないので、例えば下洗馬の直線のところが狭いもんでそこに一角でもいいので避難退避コーナー、10mくらいの。そういったものを作ろうじゃないかっていうことで、アイデアを県の方に出したんですね。そうしたらちょっと待ってくれと逆に県の方から言われちゃって、村で村費でやるからっていう話でもね。

それだとか、例えば学校坂で枝がしななって落ちそうなところは、すぐに安全確保のために切るとか、できることはやっていこうというスタンスは何も変わりませんので、お願いしたいと思います。

#### 議会モニターB

ありがとうございます。あともう少しだけ、議会モニターとはちょっと離れてしまうんですけどせっかくなので。村長が就任された月曜日の課長会議を経営者会議というふうに変更されたんですが、その後それに対してどのように何か変わった、例えば課長たちの認識が変わったとか、職員の態度が変わったとか、何かそういうものは。

#### 小林村長

変わってもらいたいと思っています。去年から行革プロジェクトというプロジェクトの中で、村と言えども、今までのような管理運営方式から、攻めの経営方式というところに変えていこうじゃないかということがもまれて、結論として出てきました。

この経営方式っていうのは、村長になる前から言っていることでして、やっとな私の言うことも分かってきたんだなあと嬉しく思ったんですけど。それで1番は、やっぱり意識改革の中からっていう意味もあって、課長会議というよりも、各課長さんが1つの事業を運営しているということで、もっと経営的な感覚でトップの感覚を持って物事を進めてもらいたいというような意味合いから、経営会議という名称変更をしました。やはり私課長達には、そういう感覚でそういうものの見方で先を見て、いろいろ判断をしていってくれと。村民目線で、役場に来た人たち、またはそういう住民からの要望に対しても、そういう感覚で取り込んでくれというようなことで、まずは意識改革っていうところから、そういった名前に変更しました。

ですから課長たちもたぶん意識は少しずつ変わってきていると思いますし、職員の方も村は今我々は私たちはこういうことを変えていこうとしているんだ、というような意識は少しずつこの辺に芽生えてきていたらうれしいなという段階です。

#### 議会モニターB

ありがとうございます。何でこんな質問をしたかと言いますと、村の職員さんと色々やり取りをする中で、なかなか約束をしたことを守ってくれなかったり、大分適当なことを、消防の件もですね、お話をさせていただいた職員の中に、自分の地区じゃないんでというような返答をされてしまったりとかですね。あと問い合わせのメールですとか、質問メールをしても一向に帰ってこないということが多々ありまして、一般企業というところの中で見ると、やはりちょっと対応として満足できないところがすごくありまして。ぜひ職員の隅々までですね、できれば今村長が仰ったように、経営をしているんだというようなところの意識改革を、できればもっと強くやっていただければありがたいかなと思います。

小林村長

あまり詳しい話しをしていくと、もう職員の誰かっていうのが特定できちゃうのでしませんが、やはり仕事の進め方がまだまだダメです。議事録を作っていない。

これマイクでしゃべれば、自動的に会議録ができるっていうシステムになったので、こういう細かな会議録もできるんですけどね。ですからどんな小さな会議でもやはり白板があって、合意したことをお互い良いですねとやるのがホントは企業ですよ。それがまだ行政にはその感覚がまだまだ薄いんです。ですから隣に塩原議員がいますが、地元の構造改善事業もちゃんと約束したのに、村側が動いてないとか、だんだんそういうことも見えてきて、本当にその時にお互いに納得して合意したことを、簡単な議事録でも残しとけば、これが本当の仕事のやり方なんですけども、まだまだそこまで至っていないというのが現実です。もう少しみんな頑張っていくますのでお願いします。

議会モニターB

ありがとうございます。変な質問までしてしまってすみません。僕みたいな若造が諸先輩方にこんな質問もしたくはないんですけど、村長も議員さんもやはり村のトップですし、僕が今44です。例えばあと20年ほどすれば、やはり僕ら世代がまた村を引っ張っていくというようになるところになるかと思っておりますので、ぜひ諸先輩方のようになりたいなと思えるような、ぜひかっこいい背中を見せていただければありがたいかなと思います。僕からは以上です。

議会モニターC

せっかく村長さんとお話しできる機会ですので、議会モニターに委嘱状をいただいて、議会や全協を見させていただいていく中で、ちょっとBさんと似ているところもありますが、議会と違いますか、二元代表制で日本はやっているんですけども、今首長村長のほうで直接住民から意見を聞けるようなそういう世の中になっていて、どこの市町村もそうだと思いますが。直接首長のほうで住民の意見を吸い上げている中で、議会は何を目指しているのかなという。議会の皆さんは住民の代表ということで私たちも期待はしているところなんですけども、直接村のほうへ住民の意見が伝わる昨今で、議会は議会活動としてどんなところを目指しているのか。せっかく議員の皆さんと村長さんでいらっしゃるので少し意見を聞ければなということと、あといろいろ開発と言いますか、工場とか工業団地という話がありますけれども、朝日村として、例えば県の施設とか国の施設とか例えば教育機関で大学とか学校とか、そういう人がたくさん来るようなもしくは公共的に強い施設等の誘致と言いますか、そういうことは考えていらっしゃるのかなあとか、その辺をお聞きできればと思いました。

なぜかと言いますと、山梨県に都留市というところがあって、そこに都留文化大学っていう公立の大学があるんですけども、非常に若者が都留市には多くて、地域性は木曾福島町みたいな谷みたいなところなんですけども、若者が大勢いて凄いなあと思ったりするところもあったり、決して都市部ばかりじゃないなっていう風にちょっと思ったものですから、議員さんと村長さんどう思っているかお願いします。

小林村長

最初の住民の声についてですが、あれは私の1番やりたいことでしたけども、村長になって一年も経

たないうちにコロナが始まってしまって、その辺が1番欠けている残念な点です。

それは今出前村政というのが、前中村村長の時代から行われていて、それを継続してまずはやろうってということと、それと私が最初に考えていたのは、年代別にもグループを作っていたいただいて、年代別の意見も聞いていこうとかいろいろアイデア持っていましたけども、なにしろこのコロナでもって潰れてしまいました。ですからこの1年間で出前村政ができたのが、中古見で1回だけでした。

ですから今後落ち着いてこれが治まっていったら、また精力的に村民の声を聞いていきたいと。住民の声を聞きながら村政に生かしていきたいというふうに思っています。

それと今その企業誘致の関係ですよ、今日もモニターさんたちにも話があるのでいいと思うんですが、今原新田の東京堂さんの北側のほうに4.6ヘクタールくらいの農地があります。田んぼ畑がね。それが前々からあそこに工業を誘致して、朝日村の工業団地にしようという構想が前々からあって。それが田んぼをつくる時の構造改善事業の足かせがあったもんですから、今までできなかったんですけど、来年あと1年後にはその足かせが取れるので、あそこに企業を誘致したいということで、今動き出しました。

前の原新田地区の地権者の方から要望書があがってからもうずいぶん日が経つので、もう1回皆さんにアンケートを出して、ここを工業団地にしていいかというようなことで、もう1回仕切り直して進めていこうという風に思っています。

それと、教育機関みたいなもの、例えば筑北だとウェルネス高校を誘致したとかね、ああいうことがあるんですけども、そんなおいしい話があったら是非のっかっていきたいですね。

ただね、朝日村はその開けた丘みたいな環境のいいところがないんですよ。他の観光に結構に力を入れてるところは丘があり、山もなだらかで使える広場が多いとかね。だけど朝日村って畑住宅すぐ山の急斜面の山なので、非常にそういう立地条件的には厳しい村だなというふうに思っています。唯一いいところは御馬越原。山の中で広い平らなところが広がっていますが、やっぱり優良農地ということで、今構造改善事業をこれからやろうとしていますけども。ちょっと場所的にいいところはないなあというような感じで、多分そういう学校法人みたいな人たちも、そういう環境のいい林間の中でとか、そういうところ望むと思うんですけども、あまり朝日には場所がないですね。そういうところが来てくれれば有難いですが。

## 議会モニターC

ありがとうございます。といいますのは、今の芝浦のところを当時の宮地鉄鋼が来るということで、あそこにトマト畑があってですね、何十年も前ですけど、子供の頃じいちゃんばあちゃんとトマトを作っていたんですよね。加工用トマトを作っていて手伝っていたんですよね。

当時ここは工場になるんだということで、当時は小さいですから、あそうなんだなっていうところで。思い出深い土地が工場になって整備されて開発されていったんですけども、結局宮地は来ず、芝浦もこれで撤退危うしというようなところで、ソーラーパネルがいっぱいあるようなところですよ。

開発して工業団地で誘致しても、どんな会社来るかわからないんですけど、そういうふうにならなくて寂しい思いは芝浦のところでは未だにこうちょっと思うところがあってですね、なかなか難しいんだなと思っていました。

あと教育機関といいますか、結局子供がいれば親もいるわけでありまして、人口を増やすという施策の

中でいろいろやっていたらしゃるので、住民の声を直接聞いているということでもありますので、またぜひやっていただきたいのと、議会の皆さんも議会の意義というの、やっぱり住民と住民を繋げるってということもありますので、若者対高齢者とかです、ね、地方対都市とか、そういうようなことを社会の分断を防ぐ意味でも議会は頑張っていたらありがたいなと思っておりまして、二元代表制とよく車の両輪で例えられますけれど、四輪駆動でぜひ頑張っていたらありがたいなと思っております。

あと、私はおひさま保育園の隣にうちがありまして、村営住宅の説明が今度あるんですけども、一点お伺いしたいのは、地域の説明会が昨年ありまして、その際使い道がないという事を、村長さんおっしゃったんですけども、使い道がないと言いますかあそこは避難所として指定されているので、使い道は避難所じゃないのかとちょっとそのときに思ったんですが。建物自体はちょっとああいう建物ですから、大人にとっては厳しいですが、取り壊して村営住宅を建てるということですけども、朝日は仮設住宅を建てるための土地が国で指定を受けていると思うんですが、小学校のグラウンドと西洗馬の五社神社のところのグラウンドに仮設住宅を建てる用地が指定されていると思いますが、それだけじゃ何か足りない気がするものですから、おひさま保育園のところがいいかなと思ったりもしたんですが、その辺はいかがですか。

#### 小林村長

使い道がないっていう表現はこういう表現です。ご存知のようにあそこが廃園になってすぐに使い道を前の行政の中村村長が一生懸命探したんですね。あそこに芸術家がもう入るってというような話まで決まっていたりね。いろんなことが決まっていたんですけども、結局はだめであとどうするかってということで西洗馬の公民館にどうかとか、そういうこともあったんですが、基本的に保育園のサイズなので、すべての施設がこの幼児サイズなんです。トイレにしても何にしても全てが。行ってみればご存じだと思うんですけども。そういったことであれを転用していくことは非常に難しいなという風にずっと感じていました。いろいろな後利用を考えたんですけども、結局もうなくて、そうこうしているうちにもう5年6年7年と経ってくると、危ない建物になってきちゃいますので、例えばケモノが入ったり、または火事になったりすると困るしね。ですからそういったことでそろそろあの施設は、壊すのが順当かなというように思っています。

あの敷地をどうやって今後使うかにおいて、そこが1番のポイントだと思うんですけども、今朝日村が近在の他村と、または全国のこういう似たような自治体と比べて何が足りないかって言うと、すぐ住む家がないんですよ。アパートだとかね、村営住宅だとか。他の市村に7か所くらい、私も視察させてもらいましたけども、みんな中長期的な計画があって、若者定住住宅だとかまたは農業をやる人たちのための納屋まで併設された住居だとか、いろいろなそういう住宅政策っていうのが進んでいます。

朝日村はその辺が今あそこの旭ヶ丘あそこをそろそろ全部潰して更新をかけますけども、あそこだけしなくてね。そういった意味でも旧おひさま保育園が唯一の村の土地で、もう宅地になっているので。あそこに住宅を建てていきたいなという今思いです。ですからそれももう1回今度説明会を行いますけども、今週の14日だね。その辺からまた仕切り直してね、ぜひあそこに住宅を建てさせてくださいというお願いをしたいと思います。

あの議事録見たら、あっちの方のことをなんで言わないんだって。今ある現在の住宅、村営住宅ね。

あれはもうほんとにそろそろ壊して新しいのに建て直すという計画になっちゃっていますので、あれは

あれで残ってきますけどね。そのほかに。

そして今役場の職員も去年から、今まで採用していなかったら、途中の世代が穴が開いちゃったので今いろいろ新人を採用しているんですけども、アパートがないんですよ。

なのでみんな 10 人でも 20 人でも山形とか、あっちの方しかなかったりするんでね。ですから公共事業として、独身者のアパートは単費でたてなくてはいけないので、それも難しいし、誰か村民の中でアパートを運営してくれる人はいないかなあなんて、私は思っていますけどね。

すいません話がそれちゃったね。

#### 議会モニターC

いえすいません。またお時間いただいて申し訳ないです。もし村営住宅を建てるようでしたら、もう思い切って魅力のある建物を建てていただいて、雇用促進住宅みたいな手狭とかののではなくて、本当にもう住居として魅力があって、みんなが来たいなこれっていうようなのを、思い切ってやっていただければありがたいなと。

今村長さんがちょうど最後に私が聞こうと思ったことがお話あったんですけども、朝日村の職員の方はホントに業務をいくつも掛け持ちでやっていただいて、松本市だったら 1 人 1 個の業務を朝日村の方は 2 つも 3 つも掛け持ちでやっていただいているようなことは、皆さん承知されています。

職員が途中採用なかったのが抜けているのも、もう皆さんご存知だと思いますが、その中で社会人の経験者枠の採用枠が市町村にあると思いますけれど、今 40 代 30 代くらいのところが抜けています。

その辺の社会人と言いますか、大人の方の経験者枠の採用についてはどんなふうにお考えですか。

#### 小林村長

採用条件の中に、その年齢層今年 30 歳までにしたのかな。それはもしいい人がいたらね、来て働いてもらいたいなっていう思いはあります。

#### 議会モニターC

新卒ではなくて社会人の経験者枠ですか。ありがとうございます。もうちょっと年齢を上げていただくと、いらっしゃるかなと思いますけど。以上です。

#### 小林村長

グッドアイデアだと思いますので。

#### 議会モニターB

今工業誘致のお話と、村営住宅の話ということで、人口を減らさない増やすという施策のお話だったと思うんですが、やはり僕みたいな御馬越の山奥に住んでいますと、なかなか村営住宅だとか、企業の誘致だとかと言われてもですね、なかなか生活に直結する話ではないところもありまして、やはり今住んでいる村民が、朝日村っていいなと外に出ていかないような施策といったところもいろいろ検討していただければいいかなと。外から人を呼ぶだけではなくて、来てもらった人を逃がさないような、何かそのような施策といったところも進めていただければと思います。

恐らく今御馬越の県道が1番村内でひどい状況にもなっているかなと。あのマンホールの所が飛び出して、アスファルトで補強してあるんですがやはりそういったところもあって、もうちょっとその今いる村民が、何かその税金を払っている分に対しての受益といったところが感じられるようなところも、いろいろ検討していただければありがたいかなと思います。

小林村長

御馬越のはどうしてあんなに穴が開いてしまうんですかね。

議会モニターB

あそこは水が湧く場所なんですよ。大雨が降るともあそこはどんどん水が湧いてくるので、その分やはり地盤沈下が早い。

小林村長

下の砂を持っていっちゃうんだね。地下水か何か。

議会モニターB

恐らくあそこはどんどん大雨が降ると、必ず水が湧く場所なので、やはりその砂を持っていかれるようなところが多いのかなと。あとはやはり最近大型の重機ですか、中俣の関係で走ったりするので、余計そのところが進んでいるのかなという風には思います。

議会モニターD

お願いします。ほとんど村のことを知らなくて、去年の春モニターをやらせていただいております。ちょっと感想めいた話になっちゃうかもしれませんが、この1年間はこういう会議に出させていただいて思っていますのは、いかに興味のない人間が村のことを知ること、縁遠いことかということをおもっています。

もちろん興味を持ってね、こういうところにどんどん出てくれば、それなりの情報というのは入ってくると思うんですよ。だけど仕事の方へずって行って、村のことはよく分からんと。自分の近所のことはいくらかわかるけども、ちょっと地区が離れてしまうと分からないというような状況があるので、その中で村の村政が今どうなっているかってことまで、興味を持てる人間が何人いるかということを実に強く感じて、いかに自分がそういう立場にいてしまったかということ強く感じています。

じゃあそのままでもいいかと言うと、やっぱりそうじゃいけなくて、ここに住む以上は自分の周りの村については知らなきゃいけないと思うんですよ。そのために何がやっているかって見れば、いろんな情報がある気になれば持って来られるんですけど、それをどうやって広められるか、どうやって興味を持ってもらえるかということについて、かなり真剣に対策を持っていかないと、なかなか話は進んでいかないんだろうなということ、当たり前の話かもしれませんが強く感じました。

1つはですね、さっきもちょっと話出しましたがもおひさま保育園の件。先ほど14日ですか、地元説明会。この範囲というのは、地元という範囲はどの辺の話なんですか。だけですね。本郷なんですよ。あそこは土合と本郷地区ということで一応やっています。ですが私も本郷のはじっこにいるものから、

この前も話をしましたけども、あそうなのって感じなんですよ。知らないんですよ。ですがあそこにもし村営住宅が建つということになると、当然同じ地区に人が入ってくるわけで、そうでなくともあの地区はちょっと増える状況にありますけども、知らない間にどんどんそういう話が進んでいくという状況ができてしまっているんじゃないかなと思って、ちょっと心配しているんですね。もちろんコロナのせいもあって、人がなかなか集まれないという状況もあると思うんですけども、なおのことそこら辺の情報を流してもらおう。同じ地区のことであれば、離れていたとしてもですね知っている必要はあると思うんですよ。ゆくゆくみんな一緒になる話ですから。そこら辺を考えていただけないかなと思っています。それから今日午前中で私帰ってしまったので分からなかったんですが、マレットゴルフ場の話もあったんでしょうか。出なかったですか。それについても、たぶん他の人達何も知らないと思うんですよ。情報を村としては出していると思うんですけども、私も正直そんなに詳しい状況は知りません。見て、あそうなんだなっていう状況なんですよ。

あの地区マレットゴルフ場についても、本郷地区の山だったと思うんですよ。それを返されるとどうなのかなって思ったんですよ。詳しい話よく分かりませんが。そういう話でありながらも答申まで出たりして話が進んでいるということになると、地区の方の対応というのが非常に後手後手になっているという状況もあるんですよ。そういう情報を、本当だったら地区長会か何かの時に地区長に話がいって、そこで話し合ってくれて話になるんだろうと思うんですが、それができないならば、何かこう違う方法でも対策を取っていかないと、みんなびっくりっていう状況が出てきてあと困るようだ嫌だな。おひさまも同じなんです。

それと全然話違いますけども、知らないながら言うんですが、農業とか工業とかここに来ていろんな話ありましたけども、朝日村の魅力とか思いますのは、私も生まれはここじゃないもんですから、思うんですけども、山だと思うんですよ。森林資源だと思うんですよ。上の方には清流もありますし、その辺を村としてですね、森林資源の利用というようなこと、観光も含めてですけどね。どんなことがあればお聞かせ願えたらと思っています。お願いします。

#### 小林村長

最初のおひさま保育園とマレットゴルフ場の今後どうするかっていう件の情報の件で、今おっしゃられたように本来なら地区長のほうで常会を開いて、その折りに今こういう話が進んでいるよというところからの情報っていうのが、1番確かで早いはずだったんですけども、こんな折なのでちょっとその辺が全員にどうやって周知するかというのは非常に頭を悩ましています。

ですからまずは1番大事な周辺の人たちにはっていうことで今、お伺いしているのと、それとマレットゴルフ場が、地権者の方20、30名いますかね。その人達には文書だとか、一回集まってもらって話を聞くとか、そんなことをやっております。今後情報は逐次出していきたいと思えます。

それと山ですけどね、87%が山だっていう朝日村で、山の資源をいかに有効活用するかっていうのは、これは大事なテーマだと私も思っています。それで5、6年前に、そういった山をどうするかっていう一大プロジェクトもあったんですけども、それは製材所を作って、そこで作った木材を住宅に使おうと。これはカラマツが主になってきますけどね。そういうプロジェクトを立ち上げて、3年4年と検討しました。結論が、今そういったことをやっても誰も買い手がないんです。いわゆるカラマツっていうのは特にね。そういったことで断念をしました。

これから今私が考えているのが、森林経営計画という国の新しいプロジェクトが出来てきて、そこに対してお金をつぎ込んでくれるっていうようなことで、今これからその森林経営計画を村でも積極的に導入して、いわゆる育林をしていくと。将来に向けて育林をしていくと。そこから出た間伐材なり、または切った木をですね、今は使い道が非常に限られて、今木が高いついていう一場面もありますが、そういった木を木質バイオマスの何か使えないかなということ、今真剣に考え出しています。

要するに小型発電機を動かして、いわゆる循環型の農業と組み合わせて、そこから出た電気と熱を農業に生かせないかということで、いわゆる山と農業と木質バイオマスっていう、今そういう循環型で何か村に貢献できないかなって、いうことを真剣に考えています。

来期はコンサル的な人も少しアドバイスを頂きながら、本当にこの村で完結できる事業かどうかということ、今考えています。これは今のゼロエミッションのそういった国の方針にも合致しますし。

それともう一つが水力発電、小型の水力発電っていうのも今具体的なテーマが上がってきてまして、まだ細かな話まで至らないのですが、その水力発電っていうのもかなりのいいテーマとして上がってきています。

#### 議会モニターD

水力発電というお話でしたけども、いろんな業者から沢を見に来ているんですよね。やらしてくれないかと。地元で話をしたいというようなことで、きたことがあるんですけども、その時にどう

なっているのかなと思っていたら、入ってこられて勝手に作る訳にもいかないでしょうから、条例もあるでしょうと思って。村のほうへちょっと相談したこともあったんですけども、村のほうではあまり関知しませんというような、よくわからない的な感じで私は捉えてしまったんですが。

水資源というのは、下手に所有権の問題に絡んできてしまうと、大変なことになってしまうということもあるものですから、水資源開発特に小型水力発電ですかね、ということがたぶん、村にもこれから先入ってくんだらうと思うんですけども、その折りにやっぱり村として計画的なものをやっていかないと、勝手に業者とそれぞれの地区で契約するような形になってしまうところもないと思うんですけども、そういう不安がちょっとありまして、先程の地権者の問題もありますけどね、是非そこらへん村のほうで行政のほうでもですね、目を光らせていただいて、そういう動きがあれば村のほうで一括して、窓口になっていただけるようなことがあってほしいなという風に思います。

#### 小林村長

もちろんそれはあります。今具体的にテーマとして挙がっているのは、長野県の企業局っていう電気を開発している県の企業局という組織がありましてね。そこでもって、第3堰堤のあの落差だけでできる電力だとかね、今いろんな新しい方式ができていて、そういったことも今県の企業局としては検討をしています。そこに絡むのが、水利権だとか、いわゆる漁業権と言いますかね、岩魚が死んでしまわないかだとか、そういったところのその環境アセスメントまで含めて、安全だと言わないと我々村としても、絶対出しませんのでそのような観点で今検討は進めていることも1つありますね。

木質バイオマスはまだまだゼロの話です。でも、小水力発電は計画的に可能だというような話まで今分析が進んできてましてね。もう少し経てば、県の企業局のほうから具体的な話が出てくるかもしれません。

#### 議会モニターD

舟ヶ沢で今ひとつやっているっていうような、やっていませんか。そうですかわかりました。

#### 議会モニターB

すいません今までの話しと違うんですけど、暮れにうちの兄家族がスキー場へ行っていて、その際にですねリフトに乗っている方が、上にリフトで行くんですが、スキーを下にある雪に取られて人が転倒したと。要はあのリフトから転げ落ちたということが、兄の家族が行った時にあったという話を聞きまして、スキー場の安全管理といいますか、リフトの下までスキー板が付くまで雪が必要なのかどうか僕も分からないんですが、リフトから人が落ちてしまって、数分間リフトも止まっていたというような話も聞きましたので、ちょっとまた何か機会がありましたら、タジマさん等と少し確認をしていただければありがたいかなと思います。

#### 議会モニターE

私からは村長さんに二点ほどお願いしたいので、これから申し上げてみたいと思います。

第一点は、国連で開発目標で17の項目を挙げて、それを推進しようと呼びかけているわけですが、その精神を村では5か年計画とか、10か年計画というもの策定なさっているようですが、その中にSDGsの精神を付随させていっていただけないものでしょうかということが第一点ですね。

二点目は男女共存社会ですか、5年ほど前から国の方で言われ出したわけですがけれども、共同参画社会の私のちょっとした考えを述べさせて、もしできたら参考にさせていただけたらと思って、申し上げます。先日一般質問のときに高橋さんのほうから、公民館長の任期というようなことが出ましたが、私の考えとしましては、もし、朝日村の女性の中に有能な資質を持った方がおいでの様なら、公民館長さん女性になっていただいてもいいかと思えます。

その場合は副館長さんには男性を付けてもらったらいいかと思えます。

その反対に、村内に能力の優れた女性が見当たらない場合には、男性の館長さんでも結構ですので、その場合は今度は女性は副館長に据えていただきたい、そういう私の気持ちです。

任期については2年がいいと思います。と申しますのは皆さんもご承知の通り世の中は明治時代とか、大正時代に比べて、もっと早くどんどん変化しておるそうですので、変化に対応するには変化に逆行した知能を持った方が就くのが1番理想だと思いますので、任期は2年にした方がいいと思います。

またその三期目は有能な方に着任していただければいいかと思えます。

次に役場の職制についての私の私見ですけれども、男性6割に対して、女性4割ぐらいの対比で役場の職制を考えていったらどうかと思えます。女性の能力が優れた分野は私3分野があるかと思えます。

第1の分野は、経理の分野です。女性の方は毎日食材をスーパーで買ったりして、家計簿をつけていると思えますが、そういった関係で経理についての知能というのは男性に比べて女性の方が優れているじゃないかと。そんなような関係から現在の職制としては、財政と企画を統一したあれがありますが、私としては、財政の面と企画の面を切り離して独立して、2つの部門を作って、女性は家計簿を付けて経理に詳しいので、財政課長昔で言えば収入役ですね、財政課長と企画課長を独立して作って、企画課長の方は財政知能に優れた男性がいいかと思えます。経理の方は女性の知識を生かして、昔の収入役のようなものは女性にやってもらって、企画の方は企画に優れた男性にやってもらえばいい。要するに二つ独立させ

て、経理の方は女性、企画の方は男性というようなそんなコンビでやっていただければいいと思いますし、2番目は教育の分野です。

教育の分野は小学校や保育園の授業参観にはどんな方がのぞんでいるかと言いますと、お母さんが大部分を占めていますね。要するにお母さんは幼児や、小学生の教育に関しては関心が深いわけで、お父さんも浅いわけじゃないけれど、仕事でなかなか小学生や幼稚園児に対して、教育のことに忙しくて関わってられないっていうような、もちろん私は高学年の高校とか大学に介するのは父親。関心は就職とか進路とか受験という問題があって、高学年に関してはお父さんも関心が深いと思いますが、低学年においては圧倒的にお母さんのその影響力は大きいと思う。そう言った関係で教育長で朝日村に教職を経験なさった女性がおられたら、教育長に女性がなっていただきたい。

というのは参画社会の一番の狙いは、女性の能力をいかに活かすかということが、参画社会の1番の狙いですので、朝日村にもし教職を経験なさった女性がおられたら、ぜひ教育長は女性にやってもらいたい。もし見つからなければ山形村とか松本か塩尻で教頭先生なり、校長先生をなさった女性の方がいらっしやったらこっちへ引っ張ってきてもいいわけです。

そういった場合には教育次長には男性がなってもらって、男女のコンビを調和させてやっていけば教育行政もうまくいくがこの松本平に教職を経験された方がいらっしやったら是非招聘して教育長になってもらいたいし、それからそれを補佐する意味で、教育次長は男性の方がいいとか、男女のコンビネーションでうまくは調子を合わせてもらえば、教育行政もうまくいくと思います。

3番目は民生のところですね。福祉課その課も女性は看護とか介護のようなことに関しては優れて能力持っているので、あの課も男性の課長さんより女性の課長さんの方がいいと思うので、その場合も男女の調和を保つために、民生課の次長は男性でもいいと思います。

そんな訳で私自身としては6対4の比率の中で、3人くらい女性の課長を作ったらどうか。あとの残りは男性が優れているから、農業や林業や商業に関する方の課は男性が優れているので、男性がなくても問題ないと思うので、そういうことで産業振興課と公害課とか商業課という方面は男性が是非やってもらいたい。

そういうことで比率としては男性が6割、女性が4割のような比率で、朝日村の職制を築いていったらどうかと、私自身は思いますけど欠点もあると思うので、その通りにやれというわけではないですが、これから後職制を組みなおす時期があったら、そういったことを参考にしながら、朝日村の職制を打ち立てていただければいいかなと思って申し上げました。以上です。

小林村長

ありがとうございます。いくつかあったので順にお答えと言いますか、ジャストアイデアなのでまともな答えになるかわかりませんが、最初のSDGsの件ね。17項目という件ですけども、あれはちょうど同じタイミングに第6次総合計画を一昨年Sさんを中心に作ってもらいましたけどね。ちょうど同じタイミングにSDGsが絡んできたものですから、各分野の物もSDGsと紐づけをするような形で一応スタートはしております。ですから13番目のそのゼロカーボンっていうのもあるんですけども、その他も含めて気をつけて進めていくと、または進めているという状況です。

ただいかんせんね、まだまだ真の狙いまでいってないと思いますけどね。その中の1つとして、男女共同参画っていうものも、朝日村も4、5年他よりも遅れちゃったんですね。県や国は第4次とか5次という

くらいに改版されてきているんですが、朝日村はやっと第3次っていうことだね。

少し遅れましたけどもやっぱり S さんに頑張ってもらって、大綱ができましたのでそれを一生懸命推進していくということですね。

1 番の問題は各いろんな分野で、男性女性って言い方がこの頃あまり良くないっていうようなこと言いますが、ほぼ半々くらいで行くのがね、理想じゃないかというふうに思っています。

ですから先ほどの、公民館長女性でどうだっていう話に私も賛成です。

ただ、そういった受けてくれる方がいればいいんですけども、あと 1 年今の館長任期がありますので、また次はそんなことも T 議員の方からもそんな話もありましたので、考えてみたいと思います。

それと職制で、役場の職制の中に女性の課長をもっと増やせというご意見ですけども、私も同感でありますけどもね、どうしても年齢の構成だとか、やはり今の給料の関係だとか、いわゆるまだ課長職のところまでもうちょっとで到達する女性がこれから増えてきますので、そういった折には積極的に登用していきたいと思います。その時に私が村長をやっているかどうかわかりませんがね。もうちょっと時間がかかるかと思えます。ちょうどいいなあって思う方が、何人かお辞めになったものですから、ちょっと今その構想が崩れちゃっています。ありがとうございます。

#### 議会モニター A

今朝も話が出ましたけれど、原新田の下原のことですけど、ふつう我々はしたばらと呼んでいますが、そこへできれば人が大勢集まるような企業を、誘致するのが 1 番良いと思います。ということは例えば、人が大勢集まれば松本のバスがそこまで回ってくるようになります。例えば、大病院の相澤病院とか信大とかですね。大病院の一部の部分を持ってくるとか、短大とか高校の誘致をするとかもあるかと思えますけど、とにかく人がなるべく集まるような企業が来てくれれば、例えば村長行ってもらえば分かりますが、もう幾らでも畑を手放してもいいという方がいっぱいいますのでね。あわせて好都合なんじゃないかと思えます。

あと、さっき出前村政の話が出ましたけれども、前の村長の時にはですね、大勢いっぱい見えたんですけど、最初から最後まで村長が喋っていて、こちらへ意見を聞く機会が全然なかったということで、できれば大勢いらしたら、一言ぐらいは喋ってどんな方が来たかなあということ、見てもらった方がいいかと思えます。

私昔議員になったばかりの頃、ちょうどオウム真理教の話が出ていまして、村の条例としてオウム真理教に関係する人は入村できないと、そういう条例確かを作ったはずです。それで私は一番最後に、辞める直前だったんですが、外国人に山は売らないとそういう条例を作ったらどうか、と前村長に言いましたが、それは村民の合意を得てからというようなことを言われていましたが、そういうようなことは考えられませんか。

#### 小林村長

原新田の今度計画する工業団地ね。それはおっしゃるとおりで、あんまりストレートに言っちゃいけないけども、トラックの駐車場だとかそういったのは、認めないようにしたいと思います。いわゆる人が集まって、そこで生産活動なりいろいろ仕事をする、そういうようなものにしていきたいというふうに思っています。

それと、確かに前村長はずっと自分のやってきたことを、頭から最後まで喋って終わったような、いつもそのような記憶ありますけども、私何度かやっている出前村政は一切私喋ってませんで、まずは聞いてこういう今日のような形でやりたいと思います。

議会モニターA

いいですね。

小林村長

それと今の条例の件ね、オウムはもうあれかもしれませんが、中国のマネーが余っているマネーで山を買うなんていうようなことも、ないともいえないものですから、それはよく注視をしていきたいと思いますが、それが条例がどういう条例がいいのかどうか、ちょっと今私即答できませんが、やっぱり我々の大事な水源を中国の方が買ってしまったということがないように。

今大尾沢の水源で朝日村の水道はほぼ持っているんですね。あそこは村の土地は何もないので、あの大尾沢の水源自体はね、何とか村として手には入れたいと思います。

議会モニターC

すいません。さっきAさんの言葉に少し感動したと言いますか、賛同したいところがあったからなんです。水の話で私安曇野市の穂高のほうに勤めに行っていたころなんです。ミネラルウォーター工場がいくつかできて、そうしましたら下流の方で地下水が少なくなってしまって、下流のわさび田の水量がすごく減ってしまったと聞きました。

大尾沢の件は皆さんが言った通りで、村民の皆さんもご存知だと思いますが、水資源はぜひ村のほうで確保していただいて、ずっと将来にわたって、水道から水が出るわけじゃないかもしれないので、この気候変動で。ですのでぜひ、取り組んでいただきたいのと、あと都市計画は工場の誘致とかあるんですが、朝日村は都市計画法に基づいて都市計画を使っていないものですから、その気になれば開発、確かに中国マネーですとかたくさん来れば、一気に開発されてしまうようなそういう状況ですので、是非都市計画を作るまでもなく何かの条例等で、ある程度開発を制限したりとかしていただければ、ありがたいかなと思っております。

あと、先ほど病院の件ですけれども、もし可能でしたら医療機関の出先でもいいので、朝日村の中には今若い方でもお医者さんになっている方も大勢いらっしゃいます。何人かいますので、そういう若いお医者さんがいずれもし村へ戻ってきてくれるような時に、今三村医院しかないんですけど、公的な診療所でもあればいいかなあなんてちょっと思いながら、村民の皆さんの健康のためにも、お金はたくさんかかりますけれど、中長期的に何かあればいいかなと思いましたが、いかがでしょうか。

小林村長

そうですね、お医者さんの件は1番重要な問題でして、すぐに診てもらえるっていうところがやっぱりないといけないと思っています。

ですから、この間第1回のいわゆる朝日の医療をどうするか検討会議の下打ち合わせ会議を、第1回目をやりましてね、これから委員会検討委員会に格上げをして、朝日村の医療をどうするかっていう検

討を始めます。そのときには今はまだ私案なんですけども、朝日村で器を用意します。そこに赴任なり滞在してくれる先生を呼び込むと、いうことを大手の病院のほうと共同で行うなんていうようなことがいいのかなっていうことで、この間三村先生だとか、または信大の先生だとか、いろんなそういう専門家の方の意見を聞いて、ある程度こういう方向かなあってというのは見えてきましたので、これから本格的に検討委員会を立ち上げていきたいと思います。

#### 議会モニターC

よろしくおねがいします。村の中にもお医者さんがいますし、いろんな技師の皆さんですかね、あと理学療法士とか、リハビリの関係の皆さんも大勢いらっしゃいますので、村内雇用等もできるかもしれませんし、ほんとお医者さんがいて、ただ聴診器当てるだけでなく、もしかしたら、ある程度大きな検査もできるくらいで、その検査の結果を持って、大きな病院へ移ってもらうとか、救急車でいくとか、そういうようなことも中長期の中早めにご検討いただければと思います。ありがとうございます。

#### 小林村長

ただね、難しいのはその先生がほんとにこの朝日村今4000人くらいの人口で、暮らしていけるかどうかというところが1番の問題でね。

まず自分で開業をすることはもう不可能だって。いわゆる投資対効果的にね。なので村で器を用意してきてくれっていう、そういうサラリーマン先生しかも無理。それか器を用意するから自分でもって全部やってくれというようなことで、それ以上のことは多分無理だと思う。そうなればいいけどね。

#### 議会モニターC

確かに開業するのに何億とか何十億の施設が必要なので。

#### 議会モニターA

ご存知のように、コロナがひっ迫してきて塩尻まで迫ってきていますが、村のほうで何か手を打つことはありますか。

#### 小林村長

今日の速報値だと、長野県で167人出て第5波を上回ったそうです。この数日でね。

日本ではもう1万人を超えたということで、今アメリカは1日10万人出るだとか、そういう報道がされていますけども、何か似たような感じになるんじゃないかと思って心配です。

村としては、早く情報を掴んで、皆さんに周知していただくとか、今のところそんな手しか打てなくてね。でもみんなマスクしているし、これから帰れば消毒してもらったり、基本的な事項はもう身についてきていると思うものですから、都度、都度対応したいと思います。なにしろワクチンを2月の5日から始めますが、その必要な数も、国の方も朝日村はいつ何人何ヶ月前に打ったという全部データが上がっているものですから、必要な部分しか配送されてこないということで、早めるわけにもいかんし。

もしかしたら国の方策もどんどん変わって、スタートは2月の5日から6ヶ月経った人から始めますが、もっと遅くの人にはもっと早まる可能性はあります。ワクチンがどんどん来ればね。そんなことでち

よっと、いろいろな対応は臨機応変に取ってまいりたいと思います。

塩原議員

はい、そろそろ 1 時間半という時間になってきました。どうしてもというところがもしありましたら御発言をいただいて、もしこれでということでありましたら、今日はこの会は閉じたいと思います。いかがでしょうか、よろしいでしょうか。

はい、じゃあ直接村長と向き合いながら、こういった対談ができたということではありますが、またいろんな発言の中で対応できる場所があればと思っております。

村長ありがとうございました。

#### 4 閉会

中村議員

どうもお疲れ様で御座いました。非常に、夜分でお疲れのことと思いますが、非常に私どももいい勉強になったと思います。ありがとうございました。お疲れ様でした。これで会議を終了致します。